

大分県の北東部にある国東半島は、両子山をはじめとする火山群がそびえ、緑豊かな山々や田園風景、開けた海原など豊かな自然に恵まれた地域です。また神と仏が共存する神仏習合文化発祥の地と言われており、互いの異教を認め合い、共存するという独特の思想・理念は、世界でも類をみません。近年、国東半島には多くのアート作品が設置されています。これらの作品は全て、アーティストが国東半島の歴史や文化をリサーチし、その場所のために制作したものです。国東半島文化旅行舎のツアーで、国東半島の文化をより深く体験してみませんか？



**国東半島の主なアートスポット** ツアー①ではA～F、ツアー②ではA～Dをご覧ください

**A 国東市海岸沿い**  
(旭日地区、来浦地区、馬ノ瀬地区) | 島袋道浩



首飾りー石を持って山に登る (旭日地区) | 光る道ー階段の無い参道 (旭日地区) | 息吹 (来浦地区)

「空の上から見る国東半島の形は八方に広がるパラポランテナのような形。瀬戸内や海の向こうの南の国、朝鮮半島や大陸の文化が、海を伝って集まる中心地のような」と語る島袋道浩による、海にまつわる3つの作品を設置しています。

**B 千燈地区 | アントニー・ゴームリー**



ANOTHER TIME XX © 国東半島芸術祭実行委員会

千燈地区は、国東半島の精神や哲学を考える上で非常に重要な場所です。山々に神道が生まれ仏教が渡来しそれらが習合した文化が今に続いています。アントニー・ゴームリーは、1970年代にインドで仏教について深く学び、以降自身をかたどった鉄製の人物像を作り続けています。東方に向かって佇む人体像の視線の先には、海まで見晴らす絶景が広がっています。いずれこの像は風雨とともに山に還っていくでしょう。

**C 成仏地区 | 宮島達男**



Hundred Life Houses © 国東半島芸術祭実行委員会

国東半島には火砕流の影響で多くの岩場が形成されています。ここに古くから人々はひとのみひとのみに折りを込め、磨崖仏や石像を残してきました。石仏磨崖仏は大分県に全国の7割が集中しており、なかでも国東半島には多くが現存していると言われています。宮島達男は、我々が生きてこの場で活動し命のバトンが渡されていく、その姿を彼なりに解釈し、地域の住民らと共に、ここに現代の磨崖仏を作りました。

**D 岐部地区 | 川俣 正**



説教壇 © 国東半島芸術祭実行委員会

国東半島内の移動さえ困難だった16世紀に、岐部地区からローマに到達し、司祭の叙階を受けた青年がいました。川俣 正は、この青年、ペトロ・カスイ岐部の数奇な生涯に感銘を受け、この教会の裏にある丘に木製の道と人が語らうための場を作りました。屋外の教会でもあり、ペトロ・カスイ岐部の道行きを追体験できる回廊でもあるこの作品は、過去と未来を繋ぐ壮大な物語を紡ぎ出しています。

**E 長崎鼻リゾートキャンプ場**

オノ・ヨーコ、木村崇人、チェ・ジョンファ、淀川テクニク (作家一例)

国東半島の北端に位置する豊後高田市香々地の長崎鼻は、春は菜の花、夏にはひまわりにもまれる花の岬です。また、オノ・ヨーコ、木村崇人やチェ・ジョンファ、淀川テクニクなど多くのアーティストの作品が点在しており、散歩しながら海や花、そしてアート作品を楽しむことができます。



オノ・ヨーコ / 見えないベンチ © 国東半島芸術祭実行委員会 | 木村崇人 / 太陽と坐る ※



チェ・ジョンファ / 色色色 ※ | 淀川テクニク / 国東半島のラクダ

**F 並石地区 | 勅使川原 三郎**



光の水滴 © 国東半島芸術祭実行委員会

並石ダムは、かつて鬼が住んでいたという言い伝えのある大きな横穴の開いた岩山のふもとにあります。勅使川原 三郎がはじめにこの地を訪れたのはちょうど満月の日でした。その月明かりの下でダムの周りを歩いたときに、昼間は気に留めなかったささいな音や風にも気づいたと言います。このような感覚を呼び起こすための最低限の仕掛けとしてガラスの塔を作りました。

**G 真玉地区 | チームラボ**



花と人、コントロールできないけれども、共に生きる -Kunisaki Peninsula © 国東半島芸術祭実行委員会

真玉海岸は大分県唯一、水平線に沈む夕日を眺めることができる場所です。その海岸沿いにある元縫製工場には、チームラボによる無数の花々が咲いては枯れるサイクルを繰り返すデジタルインスタレーション作品が設置されています。

**ART DIRECTOR TOUR**

行程の時間は、あくまで目安です。当日の天候などによって時間や内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

**1 アートディレクター山出淳也とめぐる国東半島**



1/9 (日)・10 (月・祝)  
1泊2日 旅行代金(お1人様) 19,800円(税込)

国東半島の作品を1泊2日で満喫できる盛りだくさんのツアー。国東半島で数々の作品ディレクションをつとめた山出淳也が各作品をご案内し、より深い鑑賞体験をうながします。世界農業遺産に認定された、しいたけのホダ場見学や不動山の頂上近くの五辻不動尊での護摩焚き体験も。

日程	行程	宿泊	食事	
1日目	9:00発 別府駅 → 10:10発 大分空港 → A 旭日地区   島袋道浩 → 清音寮(昼食)	国東名物 マダコを使った たこめし御膳	昼	
	原木しいたけ栽培見学 → B 千燈地区   アントニー・ゴームリー			国東半島内 農民民泊家庭
	五辻不動尊・護摩焚き → C 成仏地区   宮島達男			[男女別相部屋] 2名様以上でお申し込みください。 ※1名部屋利用の場合はお1人様 当たり5,000円増しとなります。
2日目	断崖絶壁の岩屋で護摩焚き → A 来浦地区   島袋道浩 → 17:40頃着 各農民民泊受入家庭(泊)	朝	昼	
	9:00頃発 農泊家庭 → D 岐部地区   川俣 正 → A 馬ノ瀬地区   島袋道浩			フィオーレ(昼食)
	E 長崎鼻リゾートキャンプ場 作品観賞 → ラクダのおなかの中に種や植物が!			国内最古にして最大級の磨崖仏
F 並石地区   勅使川原 三郎 → 熊野磨崖仏 → 17:10頃着 大分空港 → 18:00頃着 別府駅		大分の空むさし(休憩・買い物)		

募集人員：20名 最少催行人員：15名 添乗員：同行します お食事：朝1回、昼食2回、夕食1回 利用バス会社：エアポートシティタクシー

**ART GUIDE TOUR**

行程の時間は、あくまで目安です。当日の天候などによって時間や内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

**2 アートガイドとめぐる国東半島**

12/19 (日) 1/17 (月) 1/22 (土)  
日帰り 旅行代金(お1人様) 9,800円(税込)

国東半島の作品を効率よくめぐるツアーです。案内役をつとめるアートガイドが、作品はもちろん、国東半島の歴史や文化についてもたっぷりご紹介いたします。

日程	行程	食事	
1日目	9:00発 別府駅 → 10:10発 大分空港 → A 旭日地区   島袋道浩 → C 成仏地区   宮島達男	昼	
	清音寮(昼食) → 国東名物 マダコを使った たこめし御膳 → 原木しいたけ栽培見学 → 熊野磨崖仏		原木しいたけのホダ場は世界農業遺産
	B 千燈地区   アントニー・ゴームリー → A 馬ノ瀬地区   島袋道浩 → 道の駅にみ(買い物)		
2日目	作品の視線の先には海まで見晴らす絶景! → D 岐部地区   川俣 正 → A 来浦地区   島袋道浩	昼	
	A 旭日地区   島袋道浩(車窓から) → 18:00頃着 大分空港 → 18:50頃着 別府駅		

募集人員：15名 最少催行人員：13名 添乗員：同行します お食事：昼食1回付 利用バス会社：エアポートシティタクシー

全ての掲載写真はイメージです ※以外 撮影：久保貴史